

BC 1750

Code of Hammurabi — The First Financial Regulation

ハンムラビ法典人類最初の金融規制

バビロニア王ハンムラビは282条の法律を石柱に刻んだ。その中に、利率の上限を定めた条項がある。規制と市場の緊張は、3700年前から続いている。

投資と思考の書齋

<https://anni-memo.github.io/investment-library/>

WHAT HAPPENED

何が起きたか

紀元前1750年頃、バビロニア（現在のイラク中南部）の王ハンムラビは、帝国全域に適用される統一法典を編纂した。282条の法律が、高さ2.25メートルの閃緑岩の石柱に刻まれた。

この法典には「目には目を、歯には歯を」の同害報復法で知られる刑法だけでなく、商取引・貸借・利率に関する詳細な経済規定が含まれていた。

特に重要なのは利率制限である。大麦貸付の利率上限は年33.3%（3分の1）、銀の貸付は年20%（5分の1）と定められた。これに違反した貸し手は、債権そのものを失うという厳罰が科された。

WHY IT HAPPENED

なぜ起きたか

ハンムラビ法典の金融規定は、社会問題への対応だった。穀物貸付の仕組みが広まるにつれ、高利貸しによる搾取が深刻化していたのだ。

- 返済不能に陥った農民が土地を奪われ、債務奴隷になるケースが増加
- 貸し手が不当に高い利率を要求し、社会の不安定化を招いていた
- 農民の没落は兵力と税収の減少に直結し、王権の基盤を揺るがした

ハンムラビの目的は「強者が弱者を虐げないようにする」こと。法典の序文にはそう明記されている。これは単なる道徳ではなく、帝国の安定のための政治的判断だった。

WHAT CHANGED

何が変わったか

ハンムラビ法典は、「市場に国家が介入する」という概念を人類史上初めて制度化した。

それ以前、貸借の条件は当事者間の力関係で決まっていた。法典以降、取引には「法が定めた上限」が存在するようになった。市場の自由と社会の安定のバランスを、法が調整するモデルの誕生である。

利率の上限規制、債務者保護、取引記録の義務化。ハンムラビ法典の金融条項は、現代の金融規制の原型をすべて含んでいる。

また法典は、取引の記録と証人を義務づけた。口約束ではなく文書と証人がなければ、契約は法的に無効とされた。透明性と説明責任という、現代金融の基本原則がここに始まる。

さらにハンムラビは、3年ごとの「債務帳消し令」も発布した。返済不能な債務をリセットし、債務奴隷を解放する措置である。これは現代の破産法・債務免除の最古の先例と言える。

LEGACY

今に残っているもの

ハンムラビ法典の金融規制の思想は、3700年を経て今も生きている。

- 利息制限法 — 日本では年利20%が上限。ハンムラビの銀貸付上限と同じ水準だ
- 消費者金融規制 — 過度な貸付から債務者を保護する法律は世界中にある
- 破産法 — 返済不能な債務を法的にリセットする仕組み
- 金融規制当局（SEC、金融庁） — 市場の公正さを国家が監視する制度

法典の石柱は現在、パリのルーヴル美術館に収蔵されている。3700年前の石に刻まれた金融規制は、人類が市場と格闘し続けてきた証拠だ。

FOR INVESTORS

投資家にとっての意味

- 規制と市場の緊張は金融の本質である。規制強化は投資環境を変え、規制緩和はリスクを増大させる
 - 「強者が弱者を虐げないようにする」という動機は、現代の投資家保護制度と同根だ
 - 債務の膨張と帳消しのサイクルは、3700年前から繰り返されている。レバレッジの危険性は歴史的教訓だ
 - 取引の透明性・記録の義務化は、市場の信頼を支える土台であり、今日のディスクロージャー制度に直結する
-

KEY TERMS

関連用語

ハンムラビ法典

BC1750年頃にバビロニア王ハンムラビが編纂した282条の法典。利率制限・債務者保護・取引記録義務を含む。

利率制限

貸付金利の上限を法で定める規制。ハンムラビ法典では大麦33.3%、銀20%。現代の利息制限法の原型。

債務奴隷

債務を返済できない者が労働で弁済する制度。ハンムラビは3年を上限とし、定期的な帳消し令で解放した。

同害報復法（タリオの法）

「目には目を」で知られる刑罰原理。報復の無制限な拡大を防ぐ、比例原則の始まり。

閃緑岩の石柱

法典が刻まれた石柱。高さ2.25m。1901年にイラン・スーサで発見され、現在ルーヴル美術館に収蔵。

投資と思考の書齋

<https://anni-memo.github.io/investment-library/>

投資は自己責任です。このサイトの内容は情報提供を目的とし、投資助言ではありません。